

I. 4月当初の幼児の姿

- ・母親から離れられずに泣く子がいる。
- ・緊張して顔がこわばっている子がいる。
- ・まわりの子のあそんでいる姿を見ている子がいる。
- ・喜んで登園する子がいる。
- ・自分を出せず我慢している子がいる。
- ・何でも自分でやろうとする子がいる。
- ・できることを先生にやってもらいたい子がいる。
- ・できないことは泣いて訴える子がいる。
- ・何でも「やだ！」という子がいる。
- ・言葉が出ず、すぐに手が出てしまう子がいる。
- ・園生活の流れが少しずつわかるようになる。
- ・手あそびや、人形を使ったあそびに興味を持ち、楽しんであそぶ子もいる。

II. 1期のねらい

- ・保育者に親しみ、安心して過ごす。
- ・喜んで登園し、生活の流れが分かり園生活に慣れる。
- ・園の遊具や教材に興味を持ち楽しんであそぶ。
- ・五感を使って自然を感じる。
- ・生活に必要なきまりを知る。

III. 主な活動とねらい

1. 入園式
  - ・自分の先生を知り、自分のクラスを知る。
2. みんなで集まる
  - ・クラスで集まる楽しさを感じる。
  - ・クラスの友だちがいることを知る。
3. 誕生会
  - ・楽しく会に参加する。
4. こどもの日
  - ・自分だけの鯉のぼりを作り、風を感じながら揚げる。

IV. 領域から見た活動やねらい

- 運動
  - ・固定遊具 ・追いかけてっこ

●人間関係

- ・保育者に親しみ、一緒にあそんだり困ったことを伝えたりする。
- ・友達の行動に興味を示す。

●自然

- ・水あそび、砂、泥あそび
- ・園内の自然に興味をもち触れる。  
(草花、おたまじゃくし、だんご虫、風)

●社会

- ・自分のマークの貼ってある場所（ロッカーなど）を知り覚える。
- ・ままごとあそび
- ・集団行動のルールを知る。
- ・行事（昭和の日、憲法記念日、子どもの日）

●言葉

- ・日常で必要な挨拶や返事が出来る。
- ・保育者や友達の話に耳を傾けようとする。
- ・絵本や紙芝居を見る。
- ・困ったことなどを保育者に伝えようとする。

●表現【造形】

- ・タンポあそび ・粘土あそび ・土砂あそび
- ・こいのぼり
- ・小麦粉粘土

【身体、音楽リズム】

- ・メルヘンの世界に浸って、なりきってあそぶ  
(お姫様、ヒーローなど)
- ・音楽に合わせて、身体を動かす。
- ・身体全体を使って、感情を表現する。

【うた】

朝のうた、帰りのうた、園歌、お誕生日のうた、こいのぼり、おかあさん、さんぽ、バスごっこ、ひげじいさん、むすんでひらいて、チューリップ

【体操・踊り】

しゅりけん忍者、動物体操、アブラハム体操

●食育

- ・幼稚園で食べる楽しさを感じる。  
(肝油、お弁当、給食、誕生会のケーキなど)

V. 予測される自発的なあそび

【戸外】

砂、泥あそび、固定遊具、追いかけてっこ、水あそび、虫探し

【室内】

ままごと、粘土、描画（クレヨン・ピグマックス）、ブロック、絵本、タンポあそび、ステッキづくり、お面づくり

VI. 生活

●生活習慣

【個人の生活】

- ・喜んで登園し元気に挨拶する。
- ・先生と一緒に身の回りの支度をする。  
(靴をはきかえ靴箱に入れる、鞆を掛ける、シールを貼る、トイレに行く、ロッカーを使う)
- ・自分のクラスに入りあそぶ。
- ・外から帰ったら、うがい手洗いをする。
- ・先生と一緒に使ったおもちゃを片付ける。
- ・お弁当の前に、うがい手洗いをする。
- ・お弁当の支度をし、食べ、後片づけをする。

【仲間との生活】

- ・あそんだものを片付けようとする。
- ・クラスで集まりがあることを知り、参加しようとする。

VII. 異年齢との活動

- ・園生活の中で他の学年の子ども達の動きを見て、真似しようとする。
- ・保育者と一緒に年少組の部屋に来る他の学年の子と関わる。

I. 2期の幼児の姿

【不安→安定】

- ・幼稚園の様子が分かり、行動範囲も広がり活発になってきている。
- ・幼稚園での1日の流れがわかり、笑顔で登園している。
- ・先生との信頼関係ができ、困ったことや自分の要求を伝えられるようになる。

【安定→興味関心】

- ・コーナーのあそびに興味を示し、遊ぶ姿が多く見られる。
- ・感触、感覚的なあそびを楽しむ姿が見られる。
- ・クラスの活動を楽しみにし、喜んで参加している。

【友だちへの興味】

- ・友だちと一緒に遊ぶ姿が見られるが、一人あそびで満足している子もいる。
- ・友だちが泣いていたたり、困っていたり、ケンカをしたりしていると知らせにきてくれる子もいる。

【自己発揮】

- ・物を通しての取り合いのケンカが増える。
- ・先生の気を引こうとする姿が見られる。
- ・自分の気持ちを表出する姿が見られる。

【生活の仕方の理解】

- ・幼稚園での1日の流れが分かるようになってくる。
- ・うがい、手洗い、お弁当の支度がスムーズに行えるようになってくる。
- ・生活習慣を覚え、自分で出来るようになってきた子もいる。

【仲間意識の芽生え】

- ・みんなでする体操や手あそびを楽しんでいる。
- ・名前を覚え、呼び合う姿も見られる。

II. 2期のねらい

- ・自分の気持ちを表出し、やりたいあそびを充分に行う。
- ・園での生活の仕方がわかり、簡単な身の回りの始末が出来る。
- ・いろいろな感触あそびを楽しむ。
- ・あそびや生活の中で友だちの存在に気づく。
- ・五感を使って自然を感じる。
- ・必要な決まりや約束を守るようにする。

III. 主な活動とねらい

1. 春の遠足
  - ・春の自然に触れ伸び伸び体を動かすことを楽しむ。
2. Family day
  - ・おうちの人との触れ合いを楽しむ。
  - ・幼稚園の生活を紹介する。
3. 内科、歯科検診
  - ・自分の体に興味をもつ。

4. 避難訓練

- ・防災頭巾の扱い方を知る。
- ・先生の指示を聞いて動く。
- ・泣かずに避難する。

5. 誕生会

- ・友だちを祝う気持ちを持ち、みんなで楽しく過ごす。

IV. 領域から見た活動やねらい

●運動

- ・固定遊具 ・追いかけてっこ ・巧技台
- ・いろいろなあそびの中で十分に体を動かす。

●人間関係

- ・先生と遊んだり、積極的に思っていることを話そうとしたりする。
- ・友だちの行動に興味を示し、一緒に遊ぶ。

●自然

- ・水、砂、泥あそび
- ・小動物に親しむ  
(クラスや園庭にいる小動物に餌や水をあげる。)
- ・園内の自然に興味をもち触れる。  
(草花、だんご虫、水たまり等)

●社会

- ・自分のマークが貼ってある場所(ロッカーなど)がわかり、友だちのマークにも興味を示す。
- ・ままごとあそび ・ごっこあそび
- ・集団行動のルールがあることを知る。
- ・行事(母の日、春の遠足、衣替え、父の日、避難訓練)

●ことば

- ・自分から日常に必要な挨拶や返事が出来る。
- ・先生や友だちの話に耳を傾けようとする。
- ・絵本や紙芝居を見る。
- ・思ったことを先生に伝えようとする。
- ・友だちの名前を呼ぶ。

●文字かずあそび

- ・文字を書く前段階としてあそびの中(描画など)で自由に腕を動かす。
- ・1から3までの数の理解  
(道路を渡るときの3つのお約束など)

●表現【造形】

- ・お母さんへのプレゼント ・絵の具あそび(タンポ、ローラー、スタンプ、フィンガーペインティング、色水)
- ・粘土あそび ・土砂あそび ・クレヨンあそび
- ・新聞紙あそび ・糊あそび
- ・素材あそび(セロテープ、ピグマックス、ハサミなど)
- ・お父さんへのプレゼント

●音楽リズム

- ◎メルヘンの世界に浸って、イメージを膨らませながら遊ぶことを楽しむ。

- ・なりきって遊ぶ(お姫様、ヒーロー等)
- ・音楽に合わせて身体を動かす。
- ・身体全体を使って、気持ちを表現する。

【うた】

朝のうた、帰りのうた、園歌、お誕生日のうた、おかあさん、すてきなパパ、かたつむり、雨ふりくまのこ、にじ

【体操】

動物体操1・2・3、アブラハム体操、盆踊り(あんばんまん音頭、ちびまるこ音頭など)

【食育】

- ・お母さんが作ってくれたお弁当や給食を先生や友だちと一緒に食べる喜びを感じる。
- ・園庭の木の実やみやまえファームで育てた野菜を収穫し、とれたてのおいしさを味わう。

V. 予測される自発的なあそび

【戸外】

砂・泥あそび、固定遊具、追いかけてっこ、水あそび

【室内】

ままごと、粘土、描画(クレヨン、ピグマックス)、素材あそび、ブロック、絵本、モンテッソーリ(プレイルーム)

VI. 生活

【生活習慣】

a. 個人の生活

- ・喜んで登園し元気に挨拶する。
- ・自分で身の回りの支度をしようとする。  
(靴をはきかえ靴箱に入れる、シールを貼る、トイレに行く、ロッカーを使う)
- ・うがい手洗いをする。
- ・先生と一緒に使ったおもちゃの片付けをする。
- ・お弁当や給食の支度をし、食べ、後片づけをする。

b. 仲間との生活

- ・クラスで使う物(みんなの物)を譲り合って使うことを知ったり、片付けたりする。

【安全指導】

- ・避難訓練で安全に避難できる。

VII. 異年齢の活動

- ・園生活の中で他の学年の子どもたちの動きを見て、模倣する。
- ・年少組の部屋に来る他の学年の子と関わる。
- ・先生を介して、他の学年の子と関わる。

I. 今の幼児の姿

- ・好きなあそびを集中して行う。
- ・先生の手伝いを進んで行うようになる。
- ・自分の思ったことを言葉で伝えられるようになってくる。
- ・夏休みに経験したことを先生や友だちに伝えようとする。
- ・生活習慣は身に付いてきたが、その反面手を抜くことがある。
- ・年中、年長児の姿を見て真似したい気持ちが出てくる。
- ・セロテープやハサミ、マジックなどを用いて素材あそびを喜んでいます。

II. 3期のねらい

- ・夏の自然に触れることを楽しむ。
- ・保育者や友だちの中で自己主張する。
- ・友だちに興味を持ち、関わって遊ぶ。
- ・運動あそびやゆうぎに興味を持ち元気に遊ぶ。
- ・9月当初は生活習慣を取り戻し、自分でできることは自分でする。
- ・五感を使って自然を感じる。

III. 主な活動とねらい

1. 七夕
  - ・七夕の行事に親しむ。
2. 夕涼み会
  - ・親子で夕涼み会を楽しく過ごす。
3. 終業式
  - ・1学期の終わりを知り、夏休みを楽しみにする。
4. 始業式
  - ・2学期の始まりを知り、先生や友だちとの再会を喜ぶ。
5. 敬老の日
  - ・敬老の日を知る。おじいちゃん、おばあちゃんに大好きという気持ちを込めてプレゼントを作る。
6. 運動会
  - ・運動会の雰囲気を楽しみ、おうちの人に見てもらって認められる嬉しさを感じる。
  - ・運動会までの過程や運動会当日において、のびのびと身体を動かすことやクラスの友だちと一緒にやることの楽しさを感じる。

IV. 領域から見た活動やねらい

- 運動
  - ・固定遊具 ・追いかけてっこ ・プールあそび ・体操
  - ・運動会ごっこ

- 人間関係
  - ・友達や先生と遊んだり、積極的に思っていることを話そうとする。
  - ・友だちの行動に興味を示し、一緒に遊ぶ。
  - ・年中、年長児と関わる。
- 自然
  - ・水、砂、泥あそび、風あそび
  - ・生き物の世話(クラスにいる生き物に餌や水をあげる)
  - ・身近な自然に興味をもち、触れる。(雨、風、雲、草花、実、虫、葉っぱのお面等)
- 社会
  - ・ままごとあそび ・ごっこあそび
  - ・集団行動のルールがあることを知り、守ろうとする。
  - ・行事(七夕、夕涼み会、敬老の日、秋分の日、衣替え、運動会)
- ことば
  - ・出来事や思ったことなどを先生に伝えようとする。
  - ・進んで日常に必要な挨拶や返事ができるようになる。
  - ・先生や友だちの話に耳を傾けようとする。
  - ・自分から絵本を見る。
  - ・紙芝居を見る。 ・素話を聞く。
  - ・運動会で応援の言葉を知る。
- かずあそび
  - ・1から3までの数の理解。
  - ・先生と一緒に木の葉、物、その他色々な物に興味を示しながら数えてみる。
- 表現【造形】
  - ・七夕飾り ・絵の具(色水)あそび
  - ・粘土あそび ・土砂あそび
  - ・ダンボールあそび ・新聞紙あそび
  - ・素材あそび(セロテープ、ピグマックス、ハサミなど)
- 【身体、音楽リズム】
  - ・メルヘンの世界に浸ってイメージを膨らませながら、遊ぶことを楽しむ。
  - ・なりきって遊ぶ(お姫様、ヒーロー等)
  - ・音楽に合わせて身体を動かす。
  - ・身体全体を使って、気持ちを表現する。
  - ・歌ったり踊ったりすることを楽しむ。
- 【うた】
  - 七夕さま、空にてんてんお星さま、ヤッホッホなつやすみ、人間ていいな、あきがあんまりおいしくって

- 【体操・踊り】
  - 盆おどり、動物体操、アブラハム体操、手のひらを太陽に、エビカニクス、運動会ゆうぎ

- 食育
  - ・みんなでお弁当、給食を食べる楽しさを味わう。
  - ・身近な所にある木の実が食べられることを知る。

V. 予測される自発的なあそび

- 【戸外】
  - ・砂、泥、水あそび ・固定遊具 ・追いかけてっこ
  - ・おままごと ・運動会ごっこ ・ごっこあそび
  - ・簡単なルールのあるあそび ・虫取り ・ザリガニ釣り
- 【室内】
  - ・ままごと、粘土、描画(クレヨン、ピグマックス)、汽車、素材遊び、ブロック、絵本、モンテッソーリ(プレイルーム)、ごっこ遊び、絵の具

VI. 生活

- 生活習慣
  - 【個人の生活】
    - ・喜んで登園し元気に挨拶する。
    - ・自分で身の回りの支度をしようとする。(靴をはきかえて靴箱に入れる、シールを貼る、トイレに行き用便をする、ロッカーを使う)
    - ・外から帰ったらうがい手洗いをする。
    - ・先生と一緒に使ったおもちゃの片付けをする。 ・制服、水着に着替える。
    - ・お弁当・給食の支度をし、食べ、後片づけをする。
  - 【仲間との生活】
    - ・クラスで使う物(みんなの物)を譲り合って使ったり、みんなで片付けをしたりする。
    - ・簡単なルールを守って遊ぶ。
    - ・先生の手伝いを喜んでいます。(ちびっこ先生)

- 安全指導
  - ・園外に出るとき(散歩等)交通ルールを守る。
  - ・危険なことはしない。
  - ・ハサミなど危険が伴う物を使うときの再確認をする。

VII. 異年齢児との活動

- ・園生活の中で他の学年の子ども達の姿を見たり、模倣したりする。(運動会ごっこ)
- ・年少の部屋に来る他の学年の子も受け入れる。
- ・先生を介して、他の学年の子と関わる。

I. 今の幼児の姿

- ・3～4人の友だちと一緒にごっこあそびをする姿が見られる。
- ・発見したことや感じたこと、自分でイメージしたことを保育者や友だちに伝える姿が見られる。
- ・言葉のやりとりが増えてきた。
- ・友だちに対して思いやりのある行動をとる姿が見られるようになってきている。(友だちの手伝い、なぐさめ)
- ・クラスの集まりを楽しいと感じられるようになってきた。
- ・身の回りの支度をスムーズに行う子が多い。
- ・うがい手洗いを面倒に思い、やらない子がいる。
- ・今までよりあそびが継続するようになってきた。
- ・先生のお手伝いを喜んでする姿が見られる。(イスを出す、机拭き等)

II. 4期のねらい

- ・積極的に友だち(安定した顔ぶれ)と遊ぶことを楽しむ。
- ・戸外で体を十分に動かしいろいろなあそびを楽しむ。(運動あそび、伝承あそび、表現あそびなど)
- ・経験したことや感じたことなどを進んで話し、対話を楽しむ。
- ・五感を使って、自然を感じる。
- ・感じたことやイメージを表現することを楽しむ。

III. 主な活動とねらい

1. 先生のお手伝い
  - ・任される喜びを感じる。
  - ・認められることで、自信を持つ。
2. さつまいも掘り
  - ・土の感触を楽しみながら、友だちと一緒にさつまいも掘りを楽しむ。
3. クッキング
  - ・クラスの友だちと一緒につくることを楽しむ。
  - ・おいしさを共感する。
4. 遠足
  - ・クラスの友だちと一緒に遠足に行くことを楽しむ。
  - ・秋を感じる。
5. 避難訓練
  - ・火災の時の避難の方法を知り、指示に従って行動する。
6. 生活展
  - ・表現する楽しさを十分に味わう。
  - ・色々な素材に触れる。
7. もちつき
  - ・お餅ができる様子に興味を持ち、みんなで楽しくつく。
  - ・お餅の感触を楽しむ。
8. クリスマス会
  - ・クリスマス会に楽しく参加する。
9. ロッカー掃除
  - ・自分のロッカーの整理整頓をする。
10. 終業式
  - ・2学期の終わりを知り、冬休みを楽しみにする。

IV. 領域から見た活動やねらい

- 運動
  - ・固定遊具 ・鬼ごっこ ・かくれんぼ
  - ・伝承あそび(あぶくたつた、花いちもんめ、かごめ)
  - ・縄(へびとび、つな引き) ・巧技台・プールあそび
  - ・散歩
- 人間関係
  - ・自分の経験したことや感じたことを保育者や友だちに伝えようとする。
  - ・色々な経験を通して友だちと会話をする。
  - ・簡単なルールのあるあそびやごっこあそびを友だちと一緒に楽しむ。
- 自然
  - ・水、砂、泥あそび
  - ・園内外の自然に興味を持ち触れる。(草花、落ち葉拾い、さつまいも、どんぐり、実、果物)
- 社会
  - ・ままごとあそび ・ごっこあそび
  - ・なりきりあそび(ペープサート、お面を付けて)
  - ・集団行動のルールを守る。
  - ・簡単なルールが理解できるようになる。
  - ・行事(遠足、文化の日、七五三、勤労感謝の日、生活展、もちつき、クリスマス会、終業式)
- 言葉
  - ・日常生活に必要な挨拶や返事を保育者や友だちにすることが出来る。
  - ・保育者や友だちの話に耳を傾けようとする。
  - ・経験したことや感じたことなどを進んで保育者や友だちに伝えようとする。
  - ・自分で絵本を見る ・紙芝居を見る ・素話を聞く。
- 文字かずあそび
  - ・文字を書く前段階としてあそびの中(絵画など)で自由に腕を動かす。
  - ・保育者と一緒に、興味を示しながら木の葉や物を数えてみる。
  - ・1～3までの数の理解。
- 表現
  - 【造形】
    - ・色々な素材に触れる。
    - ・絵の具あそび ・粘土あそび ・土砂あそび
    - ・ダンボールあそび ・新聞紙あそび
    - ・素材あそび(セロテープ、ハサミ、のりなどを使って)
  - 【うた】
    - ・どんぐりころころ、まつぼっくり、バスごっこ、虫の声、焼き芋グーチーパー、とんぼのめがね、こぎつね、コンコンクシャンのうた、赤鼻のトナカイ、あわてんぼうのサンタクロース、ジングルベル、お正月、たきびなど

【リズムゆうぎ】

- ・どんぐり、かまきりじいさん、くまのこ、きのこ、雪だるまのチャチャチャ

【体操・踊り】

- ・手のひらを太陽に、エビカニクス、しゅりけんにんじゃ

●食育

- ・友だちと一緒にさつまいものクッキングをして食べることを楽しむ。
- ・秋の実(さつまいも、柿、みかん、ぎんなん等)のおいしさを友だちと共感する。

V. 予測される自発的なあそび

【戸外】

- ・砂、土、水あそび、鬼ごっこ、巧技台、ごっこあそび、固定遊具、葉っぱあそび、伝承あそび、ルールのあるあそび

【室内】

- ・絵の具あそび、ままごと、粘土、描画(クレヨン、ピグマックス)、素材あそび、絵本、劇あそび、モンテッソーリ、プレイルーム、スタンプあそび

VI. 生活

●生活習慣

【個人の生活】

- ・喜んで登園し元気に挨拶する。
- ・進んで身の回りの支度をする。(靴のはきかえ、シール貼りなど)
- ・外から帰ったらうがい手洗いをする。
- ・友だちと一緒に道具やおもちゃの片付けをする。
- ・制服、スモック、水着に着替える。
- ・お弁当、給食をなるべくきれいに食べる。
- ・お弁当、給食の支度や後片づけを自らしようとする。
- ・机を拭く等、進んで手伝いをする。

【仲間との生活】

- ・クラスで使う物を譲り合って使い、みんなで片づける。
- ・簡単なルールを守って遊ぶことができる。

●安全指導

- ・園外に出るとき(散歩、遠足等)に交通ルールを守る。
- ・火災の時の避難の方法を知る。
- ・危険な場所には近づかない。

VII. 異年齢との活動

- ・園生活の中で他の学年の子どもたちの動きやあそびの様子を見て、刺激を受けたり、真似したりする。
- ・年少の部屋に来る他の学年の子も受け入れる。
- ・あそびの中や担任を介して他の学年の子と関わる。
- ・あそびを通して自然に関われるようにする。

I. 今の幼児の姿

- ・新年の挨拶をする。（初日）
- ・喜んで登園する。
- ・2学期にしていたあそびをする姿が見られる。
- ・友だちと一緒に遊ぶことや会話を楽しむ姿が見られる。
- ・あそびや表現など友だちの刺激を受け、楽しむ姿が見られる。
- ・友だちと同じイメージをもってあそびを楽しむ姿が見られる。
- ・歌などにあわせて身体表現を楽しむ姿が見られる。
- ・生活習慣をスムーズに行う。
- ・先生の手伝いを喜んでする。
- ・言葉数も増え、自分の気持ちも伝えられるようになる。
- ・異年齢との関わりが少しずつ増えてくる。
- ・冬の自然（氷、霜柱）に興味を持って遊ぶ姿が見られる。

II. 5期のねらい

- ・友だちの中で自分の思いや考えを主張しながら、友だちの話を聞いたり受け入れようとする。
- ・心の安定感が増し、のびのびと生活やあそびを楽しむ。
- ・3歳児なりの基本的な生活習慣やきまりが身につく。
- ・大きくなった喜びと進級の期待を持つ。
- ・五感を使って自然を感じる。

III. 主な活動とねらい

1. 始業式
  - ・3学期が始まったことを知り、園生活に期待を持つ。
2. お正月あそび
  - ・色々なお正月あそびを経験する。
3. 節分
  - ・節分について知る。
  - ・豆のおいしさや鬼の怖さを共感する。
4. 子ども劇場
  - ・先生や友だちと楽しく劇あそびに参加し、おゆうぎ会を楽しみにする。
5. 劇あそび会
  - ・音楽に合わせて表現する楽しさを味わう。
  - ・自分のなりたい役になりきって、イメージの世界に入りながら、表現することを楽しむ。
  - ・クラスの友だちと一緒に劇ごっこを楽しむ。
6. 避難訓練（地震）
  - ・避難の方法を知り、指示に従って行動する。
7. 年中の部屋に行く（年中体験）
  - ・年中になることに期待を持つ。

8. ひな祭り会
  - ・ひな祭りについて知り、楽しく会に参加する。
9. ロッカー掃除
  - ・身の回りの整理整頓をする。
10. 終業式
  - ・一年の終わりを知り、進級を楽しみにする。

IV. 領域から見た活動やねらい

- 運動
  - ・固定遊具 ・鬼ごっこ ・伝承あそび
  - ・マット 前転 ・巧技台
- 人間関係
  - ・劇あそびを通してみんなでする事の楽しさを味わう。
  - ・あそびや生活の中できまりを守る。
  - ・友だちや相手の気持ちに気づく。
- 自然
  - ・氷、雪、霜柱 ・泥砂あそび ・動植物の世話
  - ・新芽 ・たき火
- 社会
  - ・ごっこあそび
  - ・劇あそび
  - ・行事（お正月、節分、ひな祭り、終業式）
- 言葉
  - ・友だちとおしゃべり（会話）を楽しむ。
  - ・あそびに必要な言葉を進んで使う。（入れて、貸して、ありがとう、ごめんなさい）
  - ・話に興味を持ち、見たり聞いたりする楽しさを味わう。
- 文字かずあそび
  - ・文字を書く前段階としてあそびの中（絵画など）で自由に腕を動かす。
  - ・先生と一緒に木の葉、物に興味を示しながら数えてみる。
- 表現
  - 【造形】
    - ・素材を使ってあそぶ。
    - ・劇あそびに必要な物を作る。（お面、小道具など）
    - ・絵の具 ・粘土あそび ・土砂あそび
  - ☆自分のイメージをもちながら造形表現をする。
- 【うた】
  - 雪、こぎつね、やぎさん郵便、豆まき、うれしいひな祭り、春よこい、春が来た、思い出のアルバム

【リズムゆうぎ】  
くまの子、雪だるまのチャチャチャ、鬼のパンツ、劇あそび会の遊戯

- 食育
  - ・食事の準備や片付けを意欲的に行い、友だちと気持ちよく食べる。
  - （こぼしたら雑巾で拭くなどの生活も大切にする）

V. 予測される自発的なあそび

- 【戸外】
  - かごめかごめ、花いちもんめ、お正月あそび（羽根つき、たこあげ、コマまわし）、泥だんご作り、劇ごっこ、あぶくたつた、砂、土、水あそび、氷、霜あそび、鬼ごっこ、固定遊具、巧技台、伝承あそび、簡単なルールのあるあそび
- 【室内】
  - お正月あそび（カルタ、コマ、すごろく）、劇あそび、ごっこあそび、絵の具あそび、ままごと、粘土、描画（クレヨン、ピグマックス）、素材あそび、ハンカチあそび、絵本、モンテッソーリ（プレイルーム）

VI. 生活

- 生活習慣
  - 【個人の生活】
    - ・喜んで登園し元気に挨拶をする。
    - ・進んで身の回りの支度をする。
    - ・衣服の着脱は自分で行おうとする。
    - ・手洗いうがいをきちんとする。
    - ・お弁当、給食の用意片付けをする。
    - ・遊具、用具の片付けをする。
  - 【仲間との生活】
    - ・クラスで使う物を譲り合って使い、みんなで一緒に片付けをする。
- 安全指導
  - ・園外に出るときは交通ルールを守る。
  - ・危険なことはしない。
  - ・ハサミなど危険が伴う物を使うときは再確認し、使うようにする。
  - ・火災、地震の時の避難方法を知る。
  - ・危険な場所には近づかない。

VII. 異年齢の活動

- ・年少の部屋に来る他の学年の子を受け入れ、関わる。
- ・園生活の中で他の学年の子どもたちの動きやあそびを真似する。
- ・あそびを通して自然に関わる。
- ・年中児と関わる中で、進級することに期待を持つ。